

## 技術資料 (TDS)

作成日 2019/12/10

## ・ 特質・特性

AKEMI® プラチナムP+ (AKEMI® PLATINUM P+) は不飽和エポキシアクリレート樹脂とスチレンをもとにしたもので、製品はリキッドタイプとペーストタイプがあり、いろいろな用途に使用できる樹脂で、下記の特性があります。

- － 即硬化性 (15-40 分)
- － 速乾性
- － 硬化物は研磨可能
- － 黄変しにくい
- － テクノセラミックでも粘着・接着の強度が優れています
- － 接着では (60-70°C)、薄被膜では (100-110°C) の耐熱接着に適しています
- － 水、石油、天然油などに耐久性があります
- － フードセーフで硬化後の製品は食品の接触による健康への害はありません  
(ドイツテスト機関による証明済)

## ・ 適応範囲

AKEMI® PLATINUM P+接着剤は天然石、クォーツ、セラミック、大きいサイズのテクノセラミック (例: Dekton, Lapitec, Neolith, Laminam, Kerlite, Maxfine) の接着や欠けの補修に使用されています。

特性:

PLATINUM P+リキッドタイプ: 適度な粘度

PLATINUM P+ペーストタイプ: 垂直面適応粘度

## ・ 使用方法

1. 被着体表面の水分と汚れを除去しておく。完全に乾燥させ、粗面にします
2. 着色は AKEMI の着色ペーストを 5%まで添加できます。リキッドタイプとペーストタイプを混合し適度な粘度にて使用できます
3. 硬化剤ペーストを主剤 100g に対し約 1~3g使用します。(チューブから約 4~5cm 出したものと 1gが同等になります)
4. 2液をしっかりと混ぜる。混合後 5~15分 (20°C) にて硬化が始まります  
硬化剤の添加量により硬化速度が変わります
5. 5. 15~40分ほどで硬化し次の作業をすることができます
6. 熱すると硬化時間を早め、温度を下げると硬化時間が遅くなります
7. 使用道具は AKEMI Nitro-Dilution で洗えます

## ・ 特記事項

- － 手袋を使用し手を保護してください
- － 硬化剤を通常より 4%以上にすると表面硬化が悪くなります
- － 硬化剤を通常より 3%以上にすると硬化物の黄変の原因になります

- 硬化剤を通常より 1%以下にし、低温（5℃）になると硬化がかなり遅くなります
- すでに主剤が硬化していたりジェル状になっているものは使用しないでください
- 硬化収縮があるので接着面はできるだけ薄くしてください
- 湿気や霜にさらすなど保管状態が悪いと良い接着効果（硬化特性）が得られません
- 硬化物は若干黄変することがあります
- 一度硬化した硬化物は溶解剤でも取り除くことはできません  
ただし高温（>200℃）にて物理的に取り除くことは可能ですが接着面等損傷の可能性がります
- 適正使用により硬化した硬化物は健康を害することはありません

・ 技術データ

	リキッドタイプ	ペーストタイプ
色	無色透明	不透明
比重	約 1.04 g/ cm <sup>3</sup>	約 1.10g/cm <sup>3</sup>
可使時間（硬化剤を混合してから使用できる時間（分））		
a) 20℃（雰囲気温度）の場合		
1%の硬化剤	13-15	13-15
2%の硬化剤	6-8	6-8
3%の硬化剤	4-6	4-6
b) 2%の硬化剤添加の使用		
10℃（雰囲気温度）	10-18	10-18
20℃（雰囲気温度）	6-8	6-8
30℃（雰囲気温度）	3-5	3-5

引張り強度 DIN EN ISO 527 : 40-45N/mm<sup>2</sup>  
 曲げ強さ DIN EN ISO 178 : 70-80N/mm<sup>2</sup>  
 圧縮強度 DIN EN ISO 604 : 100-110N/mm<sup>2</sup>

- ・ 保管期間 約 1 年密閉された低温場所での保管に限る
- ・ 健康と安全 使用間に MSDS を一読ください
- ・ 重要な注意事項

上記の記述は技術開発と適応技術を基本としていますが、使用に当たっては多種多様の要因が考えられるので、まず、テストピースにて予備テストをしてから確認の上実際の使用をしてください。上記の情報は、開発とアプリケーション技術の最新の段階に基づいています。さまざまな影響要因があるため、この情報は他の口頭または書面による技術アドバイスと同様に、拘束力はありません。ユーザーはサンプルでの試験を行う義務があります。